

(別記様式)

令和8年度 府立中丹支援学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（**計画段階**）・ 実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>学校教育目標 ～いどむ つながる かがやく～</p> <ul style="list-style-type: none">主体的に学ぶことも含め、未来に向かって挑戦してほしいいろいろな人とともに歩んでほしい幸福な生き方をつくりだすことで自分らしい輝きを増してほしい <p>このような児童生徒を育てるために、小・中・高の系統性を持たせた指導にあたる。</p> <p>小学部では基礎となる力を身に付ける「基礎・意欲」を大切に。</p> <p>中学部では身に付けた力を広げる、深める「発展・可能性」の段階へ。</p> <p>高等部では自立や社会参加に必要な力となるよう「統合・個性」へと発展させていく。</p>	<ul style="list-style-type: none">地域の企業や福祉事業所等の協力を得ながら、学部や学級単位での体験学習を実施し、働く生活を見据え、発段階階に応じたキャリア教育が一層進んだ。今後も地域と連携した体験的な学習を一層進めたい。学校運営協議会において、インクルーシブ教育について協議したり、地域とつながる取組について協力いただいたりするなど、特色ある学校作りが進んだ。各メディアでの取材、掲載や学校HP、SNS等を通して本校教育の様子を積極的に発信し、特別支援教育の理解、啓発にも務めることができた。働きやすさと働きがいの両立した職場にするために、職場アンケートやこれまでの働き方改革の取組を踏まえ、魅力ある職場作りについての指針をまとめ、職員間で共有することができた。授業づくりで、社会貢献の単元を通して、目標や教科等のつながりについて学部を超えて協議し、系統性を踏まえた研究を進めることができた。地域資源（施設や人材）の活用、地域貢献、連携や共同の取組等、多彩な学習を地域の方々と実施することができた。その中で、児童生徒の可能性や本校の教育について発信することができた。ICT機器やアプリ等を活用し、創造性を引き出す学習や児童生徒が共に学び合うためのツールとして積極的に活用できた。一流から学ぶ体験、多種多様な方々と関わり共に活動する取組を通して、児童生徒の躍動する姿が見られた。	<p>学校経営</p> <ol style="list-style-type: none">地域と連携した教育 これまで築いてきた地域とのつながりを大切にしながら、新たな連携にも積極的に取り組み、つながりの輪を広げていく。学校運営協議会との連携 学校運営協議会と連携し、特色ある教育活動の充実を図るとともに、地域とともに歩む学校作りに向けた具体的方策を検討・実施する。学校からの発信・理解啓発 学校の教育活動を各種メディアで積極的に発信し、本校および児童生徒の取組や成長の姿を広く社会に伝え、特別支援教育への理解啓発とその充実・発展に貢献する。魅力ある学校づくりへ。 働きやすさと働きがいの両立した職場にするために更なる意識改革と具体的な方策のもと魅力ある職場づくりを進める。 <p>教育活動</p> <ol style="list-style-type: none">障害特性に応じた指導の充実 個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けて研究を進め、児童生徒一人一人の力や可能性を伸ばす。学校や地域社会と連携し、協働的な学びの推進 交流及び共同学習の充実と、様々な学びの場を通して共に学び合う機会を創出し、インクルーシブにつながる取組を進める。学校生活やICTを活用した学習指導の充実 ICTを活用した学びを充実させ、創造性や共同する力、自ら考え表現する力を育むとともに、生活や社会に生かす力を育成する。スポーツ・芸術文化活動の積極的な推進 特色ある取組を一層進め、児童生徒の可能性や能力を最大限に伸ばすとともに豊かな人間性を育む。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
学校経営	地域と連携した教育	これまで築いてきた地域とのつながりを大切にしながら、新たな連携にも積極的に取り組み、つながりの輪を広げていく。		
	学校運営協議会との連携	学校運営協議会と連携し、特色ある教育活動の充実を図るとともに、地域とともに歩む学校作りに向けた具体的方策を検討・実施する。		
	学校からの発信・理解啓発	学校の教育活動を各種メディアで積極的に発信し、本校および児童生徒の取組や成長の姿を広く社会に伝え、特別支援教育への理解啓発とその充実・発展に貢献する。		
	魅力ある学校づくりへ	働きやすさと働きがいの両立した職場にするために、更なる意識改革と具体的な方策のもと魅力ある職場づくりを進める。		
教育活動	障害特性に応じた指導の充実	個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けて研究を進め、児童生徒一人一人の力や可能性を伸ばす。		
	学校や地域社会と連携し、協働的な学びの推進	交流及び共同学習の充実と、様々な学びの場を通して共に学び合う機会を創出し、インクルーシブにつながる取組を進める。		
	学校生活やICTを活用した学習指導の充実	ICTを活用した学びを充実させ、創造性や共同する力、自ら考え表現する力を育むとともに、生活や社会に生かす力を育成する。		
	スポーツ・文化芸術活動の積極的な推進	特色ある取組を一層進め、児童生徒の可能性や能力を最大限に伸ばするとともに豊かな人間性を育む。		
学校関係者 評価委員会 による評価				
次年度に 向けた改善の 方向性				